

ぱんだ組

子ども達は、安心できる場所で、安心できる大人と一緒にいろいろな遊び（経験）をしています。子ども達の一番近くにいるのが私たち保育者です。不安になった時、感情が崩れた時などに「大丈夫だよ！」と受け止めてあげられるよう努めています。受け止めにより安心でき、一步を踏み出せるようになります。子ども達の思いを読み取り、子ども達への応答的な関わりを大事にしています。



職員研修での学び

安定した愛着関係を！

- 愛着（アタッチメント attachment・・・触れてくっつく）
 - ・特定の人と築く、情緒的な関係
 - ・心の中に安心できる場所があることで「やってみたい」「やってみようかな」と探索・冒険できる。
 - ・愛着形成がその後の人間関係の基本になる。



この写真を見て、子ども達はどんな思いで遊んでいるのでしょうか？愛らしいですね。



「おしてあげるから、がんばって！」



「ぼくもみてるね」



「わ～い！わ～い!!」



『安心できる場所がある』、
『安心できる保育者がいる』
と・・・。

子ども達は、不安になったり涙が出ている時でも抱きしめてもらえば落ち着く、気持ちを受け止めてもらえれば前に進むことができますのです。

私たち保育者は、子どもにとって特別な大人です。一人ひとりを受け止め丁寧なかかわりを大事にしています。

ひよこ組

2歳児になると・・・。

他児にも目が向き、自分の「やりたい」「やりたくない」もはっきりしてきます。

近くにいる大人が見守ってあげたり、応答的なかわりをしてあげることで、子ども達は、探索に出かけます。

私たち大人は、子ども達のできるできないでなく、「やってみたいな」という気持ちを大切にしています。



大好きな保育者とわらべうた（ふれあい）あそび!!
自然と子ども達が集まってきます。
身体のふれあいは、子ども達にとって心地よいものなのです。

ながくつなげたい!



すべってみたあ〜い!

たくさんあつめよう!!



幼児さんたちの
「防火教室」の日
消防自動車を見学!
ピッカピカの消防車の前で
“はいっ! ちーず!!”



子ども達の主体的な活動とは・・・。

「なんだろう?」「やってみたい」と自分で心を動かして取り組み、夢中になれることです。

心が動かないと、「やらされている」だけになってしまいます。自ら!「やりたい」「知りたい」と思ったことは夢中になれる。少しくらいできなくても「頑張ってみよう」という気持ちにもなるかもしれません。園では、心を動かしたくなる環境や寄り添いを大事にしています。

うさぎ組



保護者給食試食会。家の人達にも自園給食を食べていただきました。

家で食事の様子とは違った一面を見ていただけたかな？友だちと一緒に園では、苦手な野菜も頑張れちゃう！毎日の経験、自分でやってみることが大事。スプーンや箸の持ち方も意識が持てるように一人ひとりに声をかけています。

当日レシピを栄養士が用意し保護者へ配布。さっそく家で料理してくれた方も多かったです。



チューリップの球根を植えました。

チューリップ！ってどんな花？

子ども達へ話をする前に絵本を読んで、まずは興味付けから。

「見たことある。」「知ってる～」

「赤や黄色の花でしょ～」

いろいろな声が聞かれました。

「この球根がね、きれいな花になって咲くのはみんなが年中さんになる頃なんだよ」と。

保育者の話を静かに聞いていた年少さんです。

次の日から、生長を楽しみ登園。昨日からの思いをもった登園もきったことでは大事にしています。

友だちと一緒に♪おおかみさん♪（追いかけっこ）
寝ているおおかみが目を覚ますと子ども達を追いかけます。追いかけたり、追いかけられたりが楽しい時期です。



お手伝い！

二人で役割分担して、消毒と机拭き。



年少の時に存分にごっこ遊びの経験ができるように、興味がある遊びってなんだろう？を考え、保育室の環境を準備、工夫しています。



さくら組

お面をかぶって氷鬼！
お面を付けていることで、誰が見てもわかりやすく、途中から仲間に入りた子どももスムーズには入れます。自然と仲間が集まってきます。



年中参観・給食試食会。

「家での過ごし方」「食事」「絵本の読み聞かせ」等についてグループごと話し合いの時間をもちました。先輩ママの話を聞いたり、我が家での過ごし方、子育てについてなど参考にできることがいっぱいあったようで、好評でした。



家の人との食事！「食」の基本は『欲』!!
この日のメニューは「和食」でした。
美味しそうな給食を目の前に、楽しそうなおしゃべりも!!
とっても賑やかな会場でした。
「食べることが楽しい」の気持ちを育てています。



話を聞く！

大事なこととして日常の生活の中で子ども達に知らせています。

- ①話をする人の顔を見よう！
- ②話の内容を理解できて、自分のこととして捉えよう！



大事にしたいです！ 絵本の読み聞かせ

「毎日1冊絵本の読み聞かせをしています。」というお宅がありました。

日々忙しい中、子どもとの時間をつくるのはなかなか大変です。でもその中で読み聞かせをしていることステキです★。きっと子どもの心に届いています。

警察と泥棒ごっこ



そら組



カップや空き箱を使っての自由制作。

自分で作りたい物をイメージしながら、貼ったり、切ったり・・・年長になると友だちと意思を出し合いながら協同的な活動も増えてきます。そこで自分とは違う友だちの思いや考えにも気づけるようになります。



ジュビロ
サッカー教室



年中と年長が一緒に！

少人数のきたっだからこそ、自然と生まれる異年齢保育。教えあう姿、ちょっと遠慮する姿など、クラス（学年）の違いを感じながらも声を掛け合う姿が見られます。年中児以下の子ども達は、年長のお兄さん、お姉さんに憧れています。



参観・給食試食会



ひがしこども園年長さんとの交流

川上地区自治会のご好意でさつまいも堀りをさせていただきました。大きなさつまいもを掘って嬉しそうに見せてくれました。自然体験、同年代の子ども同士の交流体験を計画的に行っています。



園で声をかけている食事マナー

- ◎反対の手でお茶碗をもって食べる！
- ◎箸で食べる！

←年長になると、いろいろな友だちと関わり、遊びを進めていく中でイメージが共通になっていく楽しさを感じるようになります。いつも同じ友だちばかりでなくいろいろな人（友だち）と関わる機会を大事にしています。